

中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染予防のため

- 町民ユニカール交流大会
 - 町民ソフトバレーボール大会
- 二つの大会を中止します。

例年 2 月に開催しておりました、「町民ユニカール交流大会」と「町民ソフトバレーボール大会」の二つの大会は、新型コロナウイルス感染症の終息が見られないことから、今年度は中止することとしましたのでお知らせいたします。

なお、ユニカール教室を、小・中学生を除く一般以上を対象に 1 月 29 日（金）～3 月 5 日（金）迄の毎週金曜日午後 2 時～4 時迄（全 6 回）行う予定です。

ユニカール教室に参加の際には、マスク着用・手指消毒・名簿記載・検温などのコロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします。

なお、コロナウイルス感染症の拡大状況や行政機関の指導などにより中止の場合も有ります。

詳しくは 1 月 15 日発行の「小久慈市民センターだより」に掲載します。

市役所で「最大 5.3m」の浸水か？ 日本海溝・千島海溝巨大地震津波想定住民説明会

今年 9 月 11 日に内閣府が公表した「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による津波浸水」を想定した住民説明会が 12 月 15 日から 23 日まで浸水想定地域を中心に行われました。

想定は東日本大震災と同規模の「マグニチュード 9」の地震、津波を想定し、①「堤防等が壊された最悪の浸水例」と②「堤防等が壊されず越水した場合の例」の 2 パターンで説明されました。

① の堤防が壊れた場合は、「市役所で 5.3m の浸水」、幸町の一部まで届き 10cm～30cm の浸水とされています。

② の堤防が壊れない場合は、「市役所で 1.5m」、田高のローソン付近までとなっています。

久慈市では今後、①避難所・避難場所の見直しを行い、来年 4 月には全戸配布する。②県の津波浸水想定区域図の公表を待ち、来年度にはハザードマップの作成と住民説明会を予定。③浸水区域が大幅に増加したことから、避難訓練の内容を早期に検討する。としています。

今冬は異常気象なのか、12 月では久慈市で観測史上最大の積雪(23cm)、そして低温が続き、雪が消えず凍結したままでした。

自然には逆らえません、十分な準備を行い暖かな春を待ちましょう。

市民バス利用でプチ旅行気分！——秋葉会サロン

秋葉会サロン（代表：小向由紀子さん）は、小久慈市民センターを中心に毎月一回活動を行っており、同会は新しい試みとして、9 月に市民バスを利用した活動を実施、参加者 16 名は秋葉バス停から市民バスを利用し、「久慈市情報交流センター YOMUNOSU（よむのす）」の見学や「プレミアム付飲食券を利用し昼食」を楽しみました。

コロナ禍で何かと引きこもりがちなこの時期、天候にも恵まれ往復市民バスを利用しての移動や美味しい食事ですごく旅行気分を味わい、多くの参加者からリフレッシュ出来とても楽しかったとの声！

皆さんも、時刻表を見ながら市民バスを利用し手軽に楽しめる計画を立て、活動範囲を広げてみてはいかがでしょうか。



少し前 ↓ ちよつこ話



年頭に当たって

新年明けまして おめでとうございます。

昨年は「コロナ・コロナ」で一年を過ごしましたが、ご町内の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和 2 年は 4 月 16 日に新型コロナウイルス感染予防のため「緊急事態宣言」が発せられ日常生活も自粛が求められました。

各施設の利用制限もあり、当協議会としては三大事業（町民運動会、地区敬老会、町民文化祭）等殆どの事業が中止に追い込まれました。

秋季になり、行政機関、集落支援員の指導を受け、コロナ感染予防対策をしっかりと取りながら、10 月と 11 月にはようやく念願の「小久慈朝市」を開催することが出来ました。

関係機関、町民の皆様のご協力に感謝申し上げます。

また、新たな試みとして「じゅうね研究会」を立ち上げ、昔懐かしい健康食の「じゅうね（エゴマ）」の栽培に向けて取り組みを始めました。さらに、今も小久慈市民センターに点灯しています「小久慈スマイルイルミネーション事業」を久慈市のコミュニティ振興補助金や地元企業様より協賛金を戴き、コロナで暗い世相に対し「小久慈を明るく照らす」事業として行う事が出来ました。

昨年は、何かと初めての事ばかりでしたが、年頭に当りコロナ終息を祈念し、コロナの中でも感染予防対策をしっかりとって、役員一同「住みよい小久慈・戻って来たいと思うまちづくり」を取り込む決意で一杯でございます。

今年もご指導ご鞭撻ご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和 3 年元旦

小久慈まちづくり協議会
会長 鹿 糠 勇
他役員一同

小久慈スマイルイルミネーション事業

華やかにイルミネーション点灯式！！

～2 月末日まで小久慈を明るく照らす～

今年はコロナ禍で多くの活動が制限されました。冬季に入り日暮れが早くなることから「地域を照らすスマイルイルミネーション事業」を文化祭の代わりに企画しました。

小雪が舞う寒空の 12 月 1 日（火）16 時より約 100 名の町民の皆様が集まり、盛大に点灯式を行う事が出来ました。

小久慈市民センター玄関屋根には巨大なイルミネーション、玄関口には放課後子供教室で色を塗り作った「ペットボトルツリー」2 基、カメラスポットの「エンジェルライト」、女性部や陶芸教室で創った「夢灯り 17 基」が点灯を待っています。

（2 頁へ続く）

小久慈

まちづくり通信

第 57 号

令和 3 年 1 月 1 日
小久慈まちづくり協議会広報委員会
久慈市小久慈町 21-47-14
小久慈市民センター
電話 59-3051

2 頁記事

小久慈スマイルイルミネーション

3 頁記事

小久慈焼陶芸教室

スマイルイルミネーション事業点灯式

点灯式のオープニングを飾り、小久慈保育園年長組の園児たち15名が玄関前特設ステージでダンス「サンタが街にやってくる」を元気に可愛く踊ってくれました。

点灯式では、点灯スイッチを3グループ設け、「小久慈保育園ばら組」澤里楓さん・工藤葵羽さん・詠子日香莉さん、「放課後子供教室」葦山華さん・八重桜莉子さん・熊谷愛香さん、そして「鹿糠スマイル実行委員長・外谷センター所長」がスタンバイ、参加者はクラッカーを手に合図を待ちます。

司会者のカウントダウン開始です。

「点灯5秒前・4・3・2・1・点灯」屋根と側壁のイルミネーション、ペットボトルツリー、エンジェルライトが一斉に点灯（写真右）、クラッカーが鳴り響き、参加者からは大きな拍手が沸き上がりました。

久慈市のコミュニティ振興事業及び町内の企業の皆様のご支援により、小久慈を明るく照らす「スマイルイルミネーション」が点灯されました。

点灯スイッチを押して頂いた皆さんや保育園の皆さん、参加者で記念写真の撮影を行い、来年2月末まで小久慈を明るく照らします。

最後に、点灯式を盛り上げてくれた小久慈保育園園児達1人1人にサンタさんからプレゼントが手渡されました。

約30分の点灯セレモニーでしたが、時折小雪も舞う中でイルミネーションに見とれていました。

また、インスタグラム・フォトコンテストで小久慈スマイルイルミネーション写真を募集しています、1月11日迄に投稿願います。

小久慈保育園の皆さん、放課後子供教室の皆さん、町内各企業の皆さん、そして当日の参加者の皆さんご協力ありがとうございました。

お陰様で地域の交流が拡がり、小久慈を明るく照らすことが出来ました。

サンタクロースのプレゼントに大喜びの園児達



小久慈焼チーム活動報告【小久慈焼陶芸教室】

親子で陶芸教室を楽しむ

未来づくり事業の小久慈焼支援チームの活動として「小久慈焼陶芸教室」を今年も11月21日（土）行いました。

当日は9時から、小久慈焼チームで今年最後の「小久慈焼施設の環境整理」をチーム6名、集落支援員他3名で刈り払い機や剪定はさみ等で行い、その後10時から陶芸教室です。陶芸教室には親子参加、お孫さんと参加等16名で「夢灯り」と「手びねり」の作成に挑みました。

「夢灯り」は大きなコップ状に出来た粘土の型に、カッターで型紙を使い切り抜き、光と影を楽しむ作品で、やはり「鬼滅の刃」系のデザインが目立ちました。「手びねり」は大きなお饅頭位の粘土をチギったり、棒状に伸ばしたりして、コップや皿、壁飾り等を創りました。

なかなか思った様に行かないもので、時折講師の下嶽智美さん（写真上中央）から丁寧な指導を受けながら、静かに、賑やかに約1時間30分で皆さん楽しみながら作品の完成です。

作品は1月中旬頃焼き上がる予定で、小久慈市民センターで引き渡します。

今回は、久慈市の「体験型観光利用促進補助金」（1/2補助）を導入し、リーズナブルに開催することが出来ました。来年も是非ご参加下さい。



みんな

楽しく！

